

○議長（井上勝彦君）順番6、4番 楠本君。

〔4番（楠本知子君）登壇〕

○4番（楠本知子君）ただ今、議長のお許しをいただきましたので、通告に従い、一般質問をさせていただきます。

1番目は、子ども・子育て会議の設置についてであります。国の子育て関連3法の成立で、今後、子育て予算が1兆円超増額されるとされています。この財源となる消費税については、いまだ未確定のことですが、今後、新しい政権でも、子ども・子育て支援を着実に進めてほしいと願っております。

橋本市では、保育所型の認定こども園の整備を進めているところでありますが、女性の社会進出が進んでいる外国では、保育所は社会の基盤施設となっており、量から質へと関心が移っているとのこと。女性が子どもを出産をして、母となり、仕事をしたいとなれば、本来母親は子どもを全面的に育てていくべきところを、それができない母親に特別なケースとして保育サービスを提供するという、昔ながらの考えが引きずられています。父親、母親でも労働を希望する家庭であれば、普通に利用できるというものでなければならぬと思います。

さらに、女性の就業率向上は、経済活性化のための重要な施策であると考えます。就学前の子どもの保育・教育に対する経済的負担や、共働き家庭などの小学生が放課後に過ごす学童保育についても負担が大きく、負担を減らす方法、改善策の検討が必要と考えます。

そこで、現在、橋本市が実施をしている子ども・子育て支援施策を把握・評価し、さらに充実した支援策を実施するにあたり、地域

の子どもや子育てに関するニーズ、要望をきちんと把握することが何より大切と考えます。計画策定に向けたニーズ調査や、子ども・子育て会議の設置についてお伺いします。

2番目は、市民病院についてということで、一つ目に、軽症者の時間外救急受診について伺います。団塊の世代が75歳を迎える2025年に向けて、医療や介護の需要はますます増大してまいります。各自自治体においても、医療費の節約対策として、一つは、かかりつけ医を持ちましょう。二つは、お医者さんのかけ持ちをやめましょう。三つ目に、時間外休日受診はなるべく避けましょう。四つ目に、特定健康検査など、健康診断を受けましょう。五つ目に、ジェネリック医薬品を利用しましょうなど、市民の方に広く広報されています。

橋本市市民病院は、新築移転後7年がたち、診療面では、近くで医療が受けれる地域完結型病院をめざしており、救急医療では、二次医療を担う中核病院として365日当直体制をとり、伊都・橋本消防の救急搬送の約半分が市民病院に運ばれ、小児科医療、また産婦人科医療とあわせ、公立病院の使命を果たしておられます。また、災害時の災害医療拠点病院の指定を受け、我が地域にとってなくてはならない病院であります。

救急性の少ない軽症患者による平日の時間外受診や、休日受診が後を絶たないと言われておりますが、医師不足や看護師不足の中で、病院としてもこのような患者が来院されると大変ですし、患者自身も高額な医療費を支払わなければなりませんし、医療費がますます増大いたします。橋本市市民病院においての現状をお聞かせください。あれば、改善策をお

伺いたします。

②として、入院時におけるテレビ・冷蔵庫の使用料について伺います。退院時に支払う費用の中で、市民の方から、テレビ・冷蔵庫のカード料金がなくて驚いたというお声をいただきました。地域の病院では、だいたい同じようなテレビ・冷蔵庫が設置されているかと思えます。橋本市民病院は、ほかの病院と比べて高いのでしょうか。高いのであれば、改善策はありますか。

以上、1回目の質問といたします。再質問はなるべくしないようにしますので、ご答弁よろしく願いいたします。

○議長（井上勝彦君）4番 楠本君の質問項目1、子ども・子育て会議に関する質問に対する答弁を求めます。

健康福祉部長。

〔健康福祉部長（北山茂樹君）登壇〕

○健康福祉部長（北山茂樹君）子ども・子育て会議の設置についてお答えいたします。

子ども・子育て関連3法が本年8月に国会で成立し、公布されました。この法律が施行されると、認定こども園制度の改善や、認定こども園、幼稚園、保育所などへの共通の給付制度の創設など、制度・財源を一元化した新しい仕組みが構築されます。これにより、質の高い学校教育・保育の一体的な提供、保育の量的拡充、家庭における養育支援の充実が図られます。

こうした国からの支援を受けるには、国が定める基本方針に即して、5年を1期とする「市町村子ども・子育て支援事業計画」の策定が義務付けられており、この計画の策定にあたっては、現在の子育て支援施策の把握・評価などのニーズ調査を実施することが求められています。

また、有識者、地方公共団体、事業主代表、子育て当事者などが、子育て支援の政策プロ

セス等に参画・関与できる仕組みとして、内閣府に「子ども・子育て会議」を設置することとなっており、市町村においても「地方版子ども・子育て会議」を設置して、「市町村子ども・子育て支援事業計画」の調査、審議をすることが努力義務として定められています。

この法律の本格施行は、最速で平成27年4月と想定されており、その場合には、平成25年度からこうした取り組みを進めなければなりません。

したがって、議員おただしの計画策定に向けたニーズ調査や、子ども・子育て会議の設置については、平成25年度に実施できるよう取り組んでまいりたいと考えています。

○議長（井上勝彦君）4番 楠本君、再質問ありますか。

4番 楠本君。

○4番（楠本知子君）ご答弁ありがとうございます。国におきましては、これからの社会保障費が増大をしていく中において、この子ども・子育て支援にしっかりとお金を投じていくことが、社会保障費を抑えていくという政策になるんだということで、こういう方向で私たち女性にとりましては、さらに安心をして出産をし、また、子育てもでき、仕事もできる環境づくりが進んでいくので、うれしいことだと思っております。

ご答弁の中では、設置に向けて検討をして、また、子ども・子育て会議をしていくというご答弁をいただきましたので、していただけるので、これ以上言うことはございません。

それで、この子育て会議を実際行っていたくにあたりまして、しっかりと、橋本市が、今これから何が必要かということをし、しっかり把握をしていただけるニーズ調査、また、子育て支援会議を実施していただきたいことを特にお願いをしたいんですけれども、その辺について、これからということでござ

いますけれども、どういう子育て会議にしたのかという、もしお考えがあれば、お聞かせいただきたいと思えます。

○議長（井上勝彦君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（北山茂樹君）具体的にどういふ調査をするかというのは、まだ決まっておられませんけれども、まず、やっぱり幼稚園、それから保育所等々の利用者のいろいろご意見、それから在宅で育児をされている方のいろいろ悩みやご意見、それから放課後児童クラブ等々を利用されている方のご意見、それらをいろいろ子育て家庭の状況、それからニーズを十分調査していく考え方でおりまして、国と同様に、その会議のメンバーにつきましては、有識者、それから幼稚園・保育所等々施設の関係者、それから保護者の代表の方、それから保育事業を実際に経営されている方等々にメンバーに入っていて、いろいろ意見を聞かせていただく予定でございます。

○議長（井上勝彦君）4番 楠本君。

○4番（楠本知子君）それでは、以上よろしくお願いをいたします。

2番に移らせていただきます。

○議長（井上勝彦君）次に、質問項目2、市民病院に関する質問に対する答弁を求めます。病院事務局長。

〔病院事務局長（豊岡 宏君）登壇〕

○病院事務局長（豊岡 宏君）それでは、はじめに、軽症患者の時間外救急受診についてお答え申し上げます。

議員ご指摘のとおり、当院におきましても、平日時間外や休日に救急性の少ない軽症患者が救急外来を受診される、いわゆるコンビニ受診が実態としてございます。医師不足、看護師不足は当院でも重大な問題でございまして、特に、内科医師の不足は顕著なものとなっており、医師等の過重労働の要因の一つとなっております。

内科医師の獲得には絶えず力を尽くしていますが、大学の医局も医師不足の状況にあり、内科医師の獲得がままならない状況が続いております。

そのため、国の政策では、救急病院は緊急に入院が必要な患者に対して治療を行い、国民は開業医でかかりつけ医を持った中で、かかりつけ医が入院を必要であると判断した場合、病院に患者を入院させ、治療することとしております。これにより、病院とかかりつけ医との役割分担を明確にし、救急病院の勤務医の過重労働を軽減しようとしております。

これは、病院から市民の皆さまへのお願いでございますが、夜間、かかりつけ医が診察している時間帯は、できるだけかかりつけ医で受診していただき、地域全体で安全な医療を安定して提供できる体制づくりに、ご理解とご協力をお願い申し上げます。将来の自分たちの地域医療を守るのは、病院だけでは不可能でございます。行政、医師会、市民が協力して守る必要があると考えております。市民一人ひとりのちょっとした行動が、将来の自分たちの医療を守ることになりますので、重ね重ねよろしくお願ひ申し上げます。

次に、入院時におけるテレビ、冷蔵庫の使用料についてお答えいたします。

現在、当院が採用しておりますプリペイドカード方式は、新病院が開院いたしました平成16年から、入院患者の療養環境の改善と患者サービスの向上を目的として導入したもので、プロポーザル方式により選定した民間事業者と契約を締結し、サービスを提供しております。

議員おただしの使用料につきましては、テレビが個室1時間当たり100円、4人部屋が1時間当たり90円、また、冷蔵庫は1日当たり200円となっております。近隣病院の状況につきましては、当院と同様にプリペイドカード

方式により民間事業者と契約し、サービスを提供している病院もありますれば、病院自らがテレビ・冷蔵庫などを設置している病院もごございます。また、テレビ・冷蔵庫などを設置しないで、患者自身が必要であれば自宅から持ってきたり、リース会社と個人的に契約して設置するなど、サービス内容とその使用料は病院によってまちまちでございます。

院長への伝書箱へのご意見等について、テレビの使用料に関するものは、平成23年度で5件、平成24年度は11月1日現在で1件となっており、病院としましても、利用者からの声を真摯に受けとめ、今後、使用料の見直しについて、値下げすることを含めまして、入札方法等も含め検討してまいりたいと考えております。

特に、テレビにつきましては、現在、BS放送やCS放送の番組をご覧になっていただくことができますが、その必要性についても検討し、少しでも安くサービスを提供することができるよう検討してまいりたいと考えております。しかしながら、現在の事業者との契約が平成25年度末となっておりますので、その点、ご理解のほど、よろしく願いいたします。

最後に、利用者への周知につきましては、入院時に入院案内パンフレットにより、患者等への説明を行っていますが、不十分な点につきましては改善に努め、引き続き、入院時における療養環境の改善と患者サービスのさらなる向上に鋭意努めてまいりたいと思いますので、ご理解のほど、よろしく願いいたします。

○議長（井上勝彦君）4番 楠本君、再質問ありますか。

4番 楠本君。

○4番（楠本知子君）軽症者によります時間外受診について、いわゆるコンビニ受診とい

うことで、橋本市民病院においても、いろんなそういう受診が多いということをお聞かせいただきました。年間におきまして、どれくらいの受診で、軽症者と思われる受診がどれくらいあるのか、もし、わかるのであればお教えいただけますか。

○議長（井上勝彦君）病院長。

○病院長（山本勝廣君）すいません。そのデータに関しましては、ただ今持ち合わせておりませんので、答弁控えさせていただきます。

○議長（井上勝彦君）4番 楠本君。

○4番（楠本知子君）コンビニ受診ということで、市民病院も多いということでございましたので、ちょっとお聞かせ願いたいなと思って聞かせていただきました。

先ほど私、前段のほうで言わせていただいたように、やはりかかりつけ医との、いろんな医療費を抑えていく対策として、やっていただきたいということをしつかりと広報していくことが必要だと思います。私たちの大事な市民病院を守っていくことについては、地域と、またお一人お一人の市民の方のご協力が必要ではないかと思っております。

特に、そういう広報を市の健康課のホームページでもされている自治体が多いんですけども、橋本市のほうでは、そういう広報をどのようにされているのかお伺いいたします。

○議長（井上勝彦君）健康福祉部長。

○健康福祉部長（北山茂樹君）現在は、健康課においてそういう啓発等々は実施していないと考えております。

○議長（井上勝彦君）4番 楠本君。

○4番（楠本知子君）もちろん橋本市民病院も広報されているかと思いますが、やはり市としても市民の皆さまの健康について、こういった、先ほど私、五つほど提案させていただいたことが、ほかの自治体でもこういうふうに健康課のホームページを開きますと載っ

ている自治体が多いです。そういうことをしっかりと広報していただくことによって、お互いに守っていただけることで、大事なことではないかなと思ったので、そういうふうにもう啓発のほう、よろしくお願ひしたいと思います。

次、2番に移らせていただきます。市民病院に入院された方からのお声をいただいたんですけれども、今お聞かせいただいたのは、橋本市民病院の入院患者数のベッド数は280床で、そのベッド数で、すべてにテレビと冷蔵庫のそういうセットが置かれているかと思うんですけれども、その稼働率はどのくらいになっておりますでしょうか。

○議長（井上勝彦君）病院事業管理者。

○病院事業管理者（石井敏明君）現在でございますと、約90%ぐらいのベッドが稼働しておる状況でございます。テレビの動いている状況というのは把握してございません。

○議長（井上勝彦君）4番 楠本君。

○4番（楠本知子君）ほとんどの方が冷蔵庫も使っていらっしゃるということでございます。そのテレビと冷蔵庫と、ちょっと分けてお聞きしたいと思うんですけれども、テレビはテレビカードで、テレビを見られる方が見られた分だけの使用料というふうになると思います。冷蔵庫におきましては、冷蔵庫を常に冷やしておかないと冷蔵庫が利用できませんので、何か冷やしたいものがあるときだけに冷蔵庫にカードを入れるというふうにはなかなかできないと思うんですけれども、今説明いただいたのは、冷蔵庫は1日200円ということでしたので、例えば、10日入院された方の、10日入院されますよね。10日入院されて、テレビを見られなかった場合、冷蔵庫だけを利用された方がいらっしゃると思います。そしたら2,000円の使用料でよろしいんですか。それで間違いはないですか。

○議長（井上勝彦君）病院事務局長。

○病院事務局長（豊岡 宏君）結構です。2,000円です。

○議長（井上勝彦君）4番 楠本君。

○4番（楠本知子君）そしたら、別にほかの施設と比べて、市民病院は高いということではありませんね。安いですね、それであつたら。

○議長（井上勝彦君）病院事業管理者。

○病院事業管理者（石井敏明君）テレビの受信料が高い。冷蔵庫については、ほとんど全部同額です。どこの病院も1日200円。テレビの受信料が、橋本市民病院と紀北分院、県立紀北分院で、これが同額で和歌山県下ではトップに高いんです。その他の病院は、半額から3分の1というところもございます。安い。まだ契約が当初契約のまま残っておりますので、局長が先ほど答弁しましたように、契約更新の時期には値下げの方向で検討していきたいというふうに思っております。

○議長（井上勝彦君）4番 楠本君。

○4番（楠本知子君）そうしましたら、テレビの使用料が1時間100円ということで、これが普通の病院に比べたらBSも見れるし、CSも見れるということで、若干高くなっているということでございますね。

そしたら、もう一つお伺ひしたいのは、業者の選定において、業者もこのテレビ・冷蔵庫のそういう設置をしていただくにあたって、利益を得ないといけませんし、それから、市民病院もある程度の利益を得ておられるのか、その両方から、二つから利益を得た上での設定になっておられるのかどうか、その辺はどのような選定基準になっているのか、お伺ひします。

○議長（井上勝彦君）病院事業管理者。

○病院事業管理者（石井敏明君）おただしのよう、料金につきましては、テレビも、そ

れから病院への収益も、両方がその患者が使われた金額の中から業者と病院のほうへの収益も決まっております。橋本市民病院の場合では、その収益率においても契約が成り立っているんですが、契約上は非常に悪いと。私の認識です。これは。当初請け負ってありますので、今度更新のときには、もうちょっと実入りをよくしたいというふうには思います。

以上です。

○議長（井上勝彦君）4番 楠本君。

○4番（楠本知子君）ありがとうございます。そしたら、今、業者選定の中で、25年度末までは今の業者選定になっておるので、今後ご検討いただくということでございますが、それまでは変わらないと。そういう検討することはできないということではよろしいですか。

○議長（井上勝彦君）病院事業管理者。

○病院事業管理者（石井敏明君）そのとおりでございます。

○議長（井上勝彦君）4番 楠本君。

○4番（楠本知子君）そうしましたら、今後、入札などのときに、新たな業者を選定される際には、どうぞ考慮していただきたいことをお願い申し上げます。

市民の方のお声の中で、非常に入院費も要った中で、特にまたこういう費用がついてきて、大変驚きましたということでお声をいただいたので、今回、質問させていただいたんですけれども、そうであれば、そういう金額をご存じの上でご使用になるということも、しっかりと広報していただけたらというふうに要望しておきます。

以上で終わらせていただきます。ありがとうございます。

○議長（井上勝彦君）4番 楠本君の一般質問は終わりました。

---

○議長（井上勝彦君）お諮りいたします。

本日の会議はこの程度にとどめ延会し、明12月4日午前9時30分から会議を開くことにいたしたいと思っております。

これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（井上勝彦君）ご異議なしと認めます。

よって、そのように決しました。

本日は、これにて延会いたします。

ご苦労さんでございました。

（午後4時51分 延会）